



デュアルリンクDVI対応 パソコン自動切替器 取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、
お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

SW-KVM2HDCN
SW-KVM4HDCN



最初に
ご確認
ください

セット内容(SW-KVM2HDCN)

●切替器本体	1台
●ACアダプタ	1個
●パソコン接続ケーブル	2本
●7.1chシステム用オーディオケーブル	2本
●USB-PS/2変換ケーブル	1本
●取扱説明書・保証書(本書)	1部

セット内容(SW-KVM4HDCN)

●切替器本体	1台
●ACアダプタ	1個
●パソコン接続ケーブル	4本
●USB-PS/2変換ケーブル	1本
●取扱説明書・保証書(本書)	1部

※万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

■安全にお使いいただくためのご注意	3
・注意	3
・お手入れについて	3
■取扱い上のご注意	3
■本書について	4
■本書の表記について	4
■本製品の特長	4
■必要なハードウェア環境	5
・対応パソコン	5
・対応OS	5
■各部の名称と働き	6
・フロントパネル	6
・バックパネル	7
■本製品の使用方法	8
・接続する前に	8
・接続例	9
・ポート番号の割当て	10
・ホットプラグ	10
・終了と再起動	10
■基本操作	10
・ボタン切替え	10
■ホットキー操作	11
・ホットキーによるポートアクセス	11
・ホットキーモードの起動	11
・ホットキーによる切替え操作	11
・ポートのダイレクト切替え一覧表	11
・オートスキャン	12
■ホットキーセッティングモード	12
・ホットキーセッティングモードを有効にするホットキーを変更する	12
・ポート切替えのホットキーを変更する	13
・使用キーボードを変更する	13
・ホットキーの設定を確認する	13
・USBをリセットする	13
・ポート切替え時のピープ音を止める	14
・ポート切替えホットキーを無効にする	14
・ホットキーの設定をデフォルトに戻す	14
・ディスプレイエミュレーション機能を使用する	14
・手動ポート選択機能を変更する	15
・マウスエミュレーション機能を使用する	15
・キーボードとマウスをリセットする	15
・ホットキーセッティングモード一覧	16

目次(続き)

■Macキーボードエミュレーション	17
■仕様	18
■トラブルシューティング	19
■保証規定・保証書	20

安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

■注意：下記の事項を守らないと事故や他の機器に損害を与えることがあります。

- 取付け・取外しの時は慎重に作業を行ってください。(機器の故障の原因となります)
- 次のような場所では使用しないでください。
 - ①直射日光の当たる場所
 - ②湿気や水分のある場所
 - ③傾斜のある不安定な場所
 - ④静電気の発生する場所
 - ⑤通常の生活環境とは大きく異なる場所
- 長時間の使用後は高温になっております。取扱いにはご注意ください。(火傷の恐れがあります)

■お手入れについて

- ①清掃するときは電源を必ずお切りください。
- ②機器は柔らかい布で拭いてください。
- ③シンナー・ベンジン・ワックスなどは使わないでください。

取扱い上のご注意

本製品を使用してパソコンを切替えて使用する際は、万が一に備えてデータのバックアップをこまめに行うことをお勧めします。(切替え時の不具合によるハングアップ、ケーブル抜けなど)

本書について

この取扱説明書では**SW-KVM2HDCN・4HDCN**の取付けや接続方法、操作方法について説明しています。本書の構成については下記をご覧ください。

- はじめに …………… 本製品の特長や機能の紹介、またフロント・バックパネルについて説明します。
- 導入 …………… 本製品の接続や設定方法などについて説明します。
- ホットキー操作 …… 本製品のホットキー操作について説明します。
- 付録 …………… 本製品についての技術情報およびその他の重要事項についてまとめてあります。

本書の表記について

[]	入力するキーを示します。例えば [Enter] はエンターキーを押します。 複数のキーを同時に押す場合は、 [Num Lock]+[~] のように「+」を表記してあります。 同時ではなく順番に押す場合は、 [K]→[Enter] のように「→」を表記してあります。
①	番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。
●	●印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。
⚠	重要な情報を示しています。

本書では、以下の表記を使用します。

KVM	…………… キーボード・マウス・ディスプレイのこと
オーディオ	…………… スピーカー・マイクのこと
USBハブ	…………… フロントパネルのUSBハブポート、バックパネルのUSBハブポートのこと

本製品の特長

- 1組のキーボード・マウス・ディスプレイで複数のパソコンを切替え可能**
1組のキーボード・マウス・ディスプレイで複数のパソコンを切替えて使用できます。
- HDCP対応**
HDCP対応でフルHD解像度(1920×1080)、WUXGA(1920×1200)のワイドディスプレイにも対応しています。
- USB接続の周辺機器を2台共有できる**
USB2.0ハブを2ポート搭載しており、USBプリンタなど各種USBデバイスを複数台のパソコンで切替えて共有することができます。さらに単独切替えも可能なので一方のパソコンでUSB機器を動作させながら他のパソコンで作業をすることも可能です。
- スピーカー・マイクの共有可能**
スピーカー、マイクの共有も可能。単独切替にも対応しておりコンソールデバイスとスピーカー・マイクは別々に切替えができます。パソコンで作業中に別のパソコンから音楽を流す、作業状況を音声で確認することが可能です。
- 7.1chサラウンドオーディオ出力搭載(SW-KVM2HDCNのみ)**
7.1chサラウンドオーディオ出力搭載。迫力の音声を2台のパソコンで切り替えて共有できます。

本製品の特長(続き)

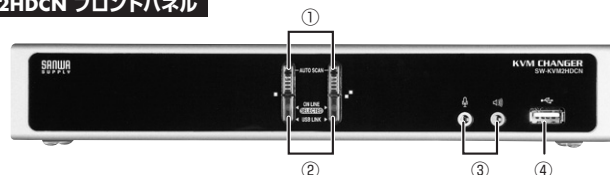
- PS/2コンソール、USBコンソール両対応のコンボタイプ**
キーボードとマウスは同梱のUSB-PS/2変換ケーブルを使用することでUSB、PS/2どちらにも対応。マウスはUSB、キーボードはPS/2などの接続も可能です。
- キーボードエミュレーション機能搭載**
キーボードポートをエミュレーションしているため、再起動(リブート)時にポートを切替えなくても完全起動が可能です。
- マウスエミュレーション機能搭載**
マウスエミュレーションON/OFF機能を搭載。切替時の素早いマウス操作が可能です。
- ホットキー・本体切替ボタン、2通りの切替方式に対応**
ホットキー、本体切替ボタン、2通りの切替方法に対応しています。
- デュアルリンクDVIに対応**
デュアルリンクDVI対応で超高分解像度2560×1600(@60Hz)に対応しています。
- ディスプレイエミュレーション機能搭載**
ディスプレイエミュレーション機能(EDID読み出し回路)を搭載。ディスプレイのEDIDを読み込みKVMに保存、DDC通信時に各ポートへ応答することで裏起動時に画面解像度が変わる、画面サイズが変わるという問題が発生しません。
- フロントパネルにもスピーカー・マイクポートを搭載**
フロントパネルにもスピーカー・マイクポートを搭載。手軽に接続・取外しができるのでSkypeなどIP電話の利用時に便利です。
- 独立切替え可能**
KVM、USB2.0ハブ、オーディオの独立切替えが可能です。
- ソフトウェアのインストール不要の簡単接続**
ソフトウェアのインストール不要で、接続するだけで全ての機能を使用することができます。
- オートスキャン機能対応**
全てのパソコンをモニタリング可能なオートスキャン機能搭載。
- マウス・キーボードのみの接続可能**
マウス・キーボードのみの接続も可能です。(ディスプレイはパソコンへ直結して使用)

必要なハードウェア環境

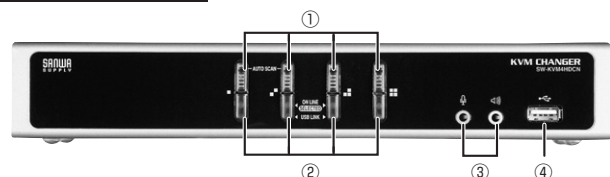
- 対応パソコン**
DOS/Vデスクトップパソコンまたはノートパソコン、Apple Macシリーズ
(USB Aコネクタ、DVI(24/29pin)ディスプレイコネクタを持つ機種)
- 対応OS**
Windows 8.1・8・7・Vista・XP(32/64bit、各Edition対応)
Windows Server 2012(R2)・Windows Server 2008(R2)・Windows Server 2003(R2)
Mac OS X、Mac OS 9.0以降
Linux(CentOS、uBuntu、OpenSUSE)

各部の名称と働き

SW-KVM2HDCN フロントパネル



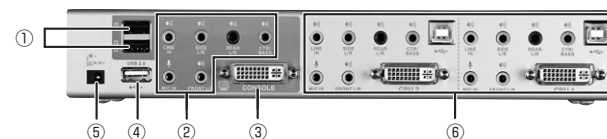
SW-KVM4HDCN フロントパネル



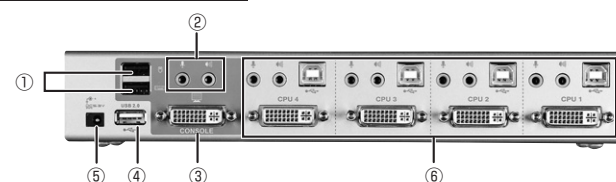
①ポート選択ボタン	1回押すと、KVMのみを選択したポートに切替えます。2秒以上長押しすると、KVM・USBハブ・オーディオすべてを選択したポートに切替えます。ポート選択ボタン1と2を同時に2秒以上長押しすると、オートスキャンを開始します。	
②LED	ポート選択ボタンに内蔵されています。上段がKVMポートLED、下段がUSB LEDです。	
	KVM	点灯時(暗いオレンジ色) ▶ポートに接続されたパソコンの電源が入っています。
		点灯時(明るいオレンジ色) ▶対応ポートがKVMコントロールで選択されています。
	USB	点滅時 ▶対応ポートがオートスキャンモードでアクセスされています。
		点灯時(暗いグリーン) ▶USBケーブルでパソコンと接続されています。
		点灯時(明るいグリーン) ▶対応ポートに接続されたパソコンが、USBハブに接続されたデバイスにアクセスしています。
③コンソールオーディオポート	コンソールで使用するマイクとスピーカーを接続します。	
④USB2.0ハブポート	USB2.0対応の周辺機器(プリンタ・スキャナなど)を接続します。	

各部の名称と働き(続き)

SW-KVM2HDCN バックパネル



SW-KVM4HDCN バックパネル



①コンソール マウス・キーボードポート	マウス・キーボードを接続します。
②コンソール オーディオポート	マイク・スピーカーを接続します。
③コンソール ディスプレイポート	ディスプレイケーブル(別売り)を使用し、ディスプレイを接続します。
④USB2.0ハブポート	USB2.0対応の周辺機器(プリンタ・スキャナなど)を接続します。
⑤電源ジャック	付属の電源アダプタを接続します。
⑥パソコンポート	付属の接続ケーブルを使用し、パソコンを接続します。 各ポートは、マイクジャック・スピーカージャック・USB Bコネクタ・DVIコネクタで構成されています。

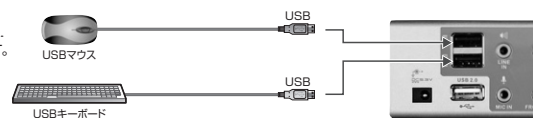
本製品の使用方法

- 接続する前に
- ①接続するパソコンや周辺機器など、すべての電源がOFFになっていることを確認してください。キーボード起動機能があるパソコンは、電源ケーブルも抜いてください。
 - ②パソコンや周辺機器へのダメージを避けるため、接続されているすべての周辺機器が正しくアースされていることを確認してください。
 - ③以下の手順に従って作業を行ってください。

- ①キーボードとマウスを、本製品バックパネルのコンソールマウス・キーボードポートに接続します。

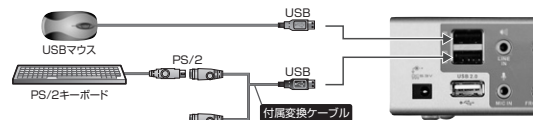
USBマウスとUSBキーボードを使用する場合

それぞれ該当するポートへ接続します。



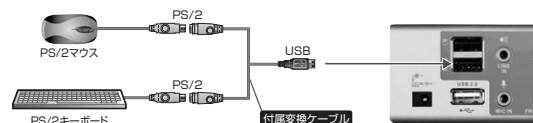
USBマウスとPS/2キーボードを使用する場合

マウスはマウス接続ポート(上側)へ接続し、キーボードは付属変換ケーブルを使ってキーボード接続ポート(下側)に接続します。



PS/2マウスとPS/2キーボードを使用する場合

いずれも付属変換ケーブルを使い、キーボード接続ポート(下側)に接続します。



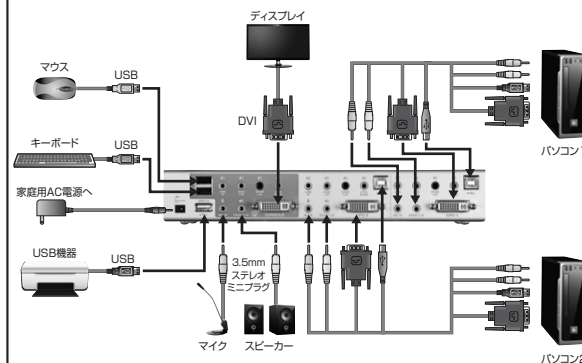
- ②ディスプレイケーブル(別売り)を使用し、ディスプレイを、本製品バックパネルのコンソールディスプレイポートに接続します。
- ③メインで使用するマイクとスピーカーは、本製品フロントパネルのコンソールポート(オーディオ)に接続します。
※フロントパネルに接続したマイクとスピーカーは、バックパネルに接続したものよりも優先されます。
- ※**SW-KVM2HDCN**は、7.1chサラウンドシステムに対応しています。パソコン接続ケーブルは2.1chサラウンドシステムにしか対応していないので、7.1chサラウンドシステムをご使用になる場合は、同梱の7.1chシステム用オーディオケーブル(1.8m×2、マイク：ピンク色、スピーカー：緑色)を使用し、各プラグをオーディオ出力側のジャックにそれぞれ接続してください。
- ④パソコンポートのDVIポートにDVIケーブルを接続してください。
付随しているマイク・スピーカーのコネクタも、それぞれ同じグループのマイク・スピーカージャックに接続します。
- ⑤ケーブルのもう一端は右図(P.9)のように接続します。
- ⑥付属のアダプタを使用し、本製品の電源ジャックとコンセントを接続します。
- ⑦USB機器は本製品フロントおよびバックパネルのUSBハブポートに接続します。
- ⑧パソコンの電源をONにします。



本製品の使用方法 (つづき)

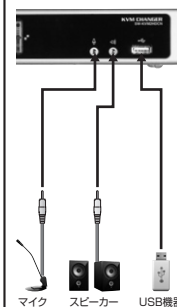
- 接続例 …… 図は**SW-KVM2HDCN**の接続例です。パソコンを2台まで接続・制御できます。

バックパネル

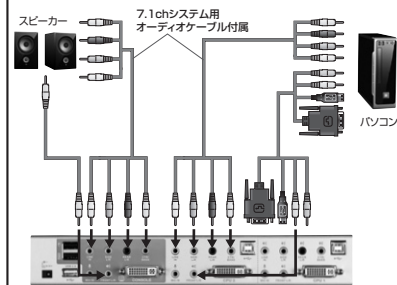


フロントパネル

スピーカー・マイク・USB機器はフロントパネルからでも接続できます。



7.1chサラウンドシステム (SW-KVM2HDCNのみ)

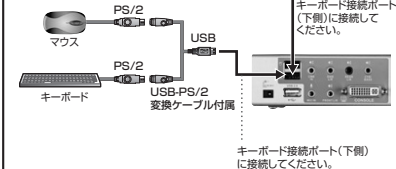


その他の接続例

ワイヤレスキーボード+マウスセットの場合



PS/2キーボード・PS/2マウスの場合



本製品の使用方法（続き）

■ポート番号の割当て

本製品の各ポートには、ポート番号が割当てられています。ポート番号はバックパネルのパソコンのポートに明記されています。

パソコンのポートのポートIDは、そのパソコンを接続したポート番号に対応します。例えば、ポート2に接続されたパソコンのポートIDは2になります。

ポートIDは、KVM・USB・オーディオのコントロールをホットキーによって切替える時に使用します。

■ホットプラグ

本製品はUSBホットプラグに対応しています。本製品に接続された機器は、電源を入れたままUSBポートに接続・取外しができます。

■終了と再起動

本製品の電源を切ったり再起動する場合は、以下の手順に従ってください。

- ①本製品の電源をOFFにします。
- ②本製品バックパネルからKVM(キーボード・マウス・ディスプレイ)ケーブルを取外します。
- ③本製品から電源アダプタを取外します。
- ④10秒経過してから、KVMケーブルを再び接続します。
- ⑤本製品に電源ケーブルを再び接続します。

基本操作

本書では、以下の表記を使用します。

KVM キーボード・マウス・ディスプレイのこと
オーディオ スピーカー・マイクのこと
USBハブ フロントパネルのUSBハブポート、バックパネルのUSBハブポートのこと

■ボタン切替え

切替器前面のポート選択ボタン(SELECTED)を押して切替えてください。

- ポート選択ボタンを1回押してすぐに離す。
→KVMのみを選択したポートに切替えます。オーディオ・USBハブは切替わりません。
- ポート選択ボタンを2回押す。
→オーディオのみを選択したポートに切替えます。
- ポート選択ボタンを2秒以上長押しする。
→KVM・オーディオ・USBハブのすべてを、選択したポートに切替えます。
- ポート選択ボタン1と2を同時に2秒以上長押しする。
→オートスキャンを開始します。

ホットキー操作

■ホットキーによるポートアクセス

ホットキーによって、キーボードからのコマンド入力で切替器を操作できます。

■ホットキーモードの起動

ホットキーによる全ての操作は、まずHKM(ホットキーモード)を起動してから行います。ホットキーモードは、**[Scr Lock]** キーを2回連続で押すと起動します。

■ホットキーによる切替え操作

ホットキーモードになると、**[Num Lock]** と **[Caps Lock]** のLEDが交互に点滅します。この状態で「コマンド」キーを入力し、**[Enter]** キーを押します。以上で「コマンド」キーに対応した切替え操作を行うことができます。

■ポートのダイレクト切替え一覧表

ホットキー	機 能
[Scr Lock][Scr Lock][Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを次のポートに切替えます。 SW-KVM2HDCN : ポート1→ポート2 または ポート2→ポート1 ※1 SW-KVM4HDCN : ポート1→ポート2→ポート3→ポート4→ポート1
[Scr Lock][Scr Lock][K][Enter]	KVMコントロールのみを次のポートに切替えます。 USBハブおよびオーディオは現在のポートのままです。
[Scr Lock][Scr Lock][U][Enter]	USBハブのみを次のポートに切替えます。 KVMコントロールおよびオーディオは現在のポートのままです。
[Scr Lock][Scr Lock][S][Enter]	オーディオのみを次のポートに切替えます。 KVMコントロールおよびUSBハブは現在のポートのままです。
[Scr Lock][Scr Lock][n][Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを選択したポートに切替えます。 ※1
[Scr Lock][Scr Lock][n][K][Enter]	KVMコントロールのみを選択したポートに切替えます。 USBハブおよびオーディオは現在のポートのままです。
[Scr Lock][Scr Lock][n][U][Enter]	USBハブのみを選択したポートに切替えます。 KVMコントロールおよびオーディオは現在のポートのままです。
[Scr Lock][Scr Lock][n][S][Enter]	オーディオのみを選択したポートに切替えます。 KVMコントロールおよびUSBハブは現在のポートのままです。
[Scr Lock][Scr Lock][n][K][U][Enter]	KVMコントロールおよびUSBハブを選択したポートに切替えます。 オーディオは現在のポートのままです。
[Scr Lock][Scr Lock][n][K][S][Enter]	KVMコントロールおよびオーディオを選択したポートに切替えます。 USBハブは現在のポートのままです。
[Scr Lock][Scr Lock][n][U][S][Enter]	USBハブおよびオーディオを選択したポートに切替えます。 KVMコントロールは現在のポートのままです。
[Scr Lock][Scr Lock][n][K][S][U][Enter]	KVM、USB ハブ、オーディオのすべてを選択したポートに切替えます。 [Scr Lock][Scr Lock][n][Enter] と同じ動作です。

※表中の[n]は、パソコンのポートID(1～4)を表しています。実際の操作時は、切替え対象となるポートIDを入力してください。

※1 KVM・USBハブ・オーディオがそれぞれ別のポートを選択していても、このホットキーによってすべて同じ選択ポートに切替えられます。

ホットキー操作 (続き)

■オートスキャン

一定の間隔で自動的にKVMコントロールを切替えることができます。この機能によって、スイッチを毎回手動で操作することなく、KVMに接続されたすべてのパソコンの状態をモニタリングできます。ホットキー操作については下表をご覧ください。

ホットキー	機 能
[Scr Lock][Scr Lock][A][Enter]	オートスキャンモードを有効にします。 KVMコントロールが1秒間隔で切替わります。
[Scr Lock][Scr Lock][A][n][Enter]	オートスキャンモードを有効にします。 KVMコントロールが指定した間隔(n=1～99秒)で切替わります。

- オートスキャン有効時、オートスキャンで使用する操作以外のキーボード入力は無効になります。
- オートスキャン時、ディスプレイの表示内容がポートごとに切替わりますが、キーボード・マウス・USBハブは切替わらず、オートスキャン開始時に選択されていたポートのままです。
- オートスキャンモードを終了するには、**[Esc]** または **[スペース]** キーを押してください。

ホットキーセッティングモード

ホットキー(キーを押す組合せ)によって本製品をキーボードから直接コントロールできますが、そのホットキーを変更(カスタマイズ)することもできます。ホットキーをカスタマイズするには、すべてホットキーセッティングモードを有効にしてから行います。ホットキーセッティングモードは次の手順で有効にします。

- ① **[Num Lock]** キーを押したまま、
 - ② **[–]** (マイナス) キーを押し、すぐに離します。
 - ③ **[Num Lock]** キーを離します。
- 以下、この動作を **[Num Lock] + [–]** と表記します。

ホットキーセッティングモードが有効になると、

- **[Caps Lock]** と **[Scr Lock]** のLEDが交互に点滅します。
- 通常のキーボードおよびマウス機能は無効になり、ホットキー対応のキーストロークだけが有効となります。
- **[Esc]** キーを押すと、ホットキーセッティングモードを終了します。

以下、いろいろなカスタマイズをご紹介します。

■ホットキーセッティングモードを有効にするホットキーを変更する

ホットキーセッティングモードを有効にするデフォルトの操作キーは **[Num Lock] + [–]** ですが、この組合せがパソコンで起動中のアプリケーションのものと競合する場合があります。これを避けるため、**[Ctrl] + [F12]** という操作に変更することができます。

ホットキー	機 能
[Num Lock]+[–]→[H]	ホットキーセッティングモード起動キーストロークを循環式に変更する。 [Num Lock]+[–] ▶ [Ctrl]+[F12] ▶ [Num Lock]+[–] ……

このホットキーを再度押すと、デフォルトの **[Num Lock] + [–]** に戻ります。

ホットキーセッティングモード (続き)

■ポート切替えのホットキーを変更する

ポート切替えに使用するデフォルトの操作キーは **[Scr Lock]** の2度押しですが、この組合せがパソコンで起動中のアプリケーションのものと競合する場合があります。これを避けるため、**[Ctrl]** の2度押しに変更することができます。

ホットキー	機 能
[Num Lock]+[–]→[T]	ポート切替えに使用するキーを循環式に変更する。 [Scr Lock][Scr Lock] ▶ [Ctrl][Ctrl] ▶ [Scr Lock][Scr Lock] ……

このホットキーを再度押すと、デフォルトの **[Scr Lock]** 2度押しに戻ります。

■使用キーボードを変更する

本製品のパソコンのポートはデフォルトでパソコン(Windows、Linuxなど)向けに設定されており、コンソールとして使用するキーボードもPC/AT互換キーボードを想定しています。Macを接続した場合でも、PC/AT互換キーボードでMacの特殊キー操作が行えるよう設定できます。また、Mac用キーボードを接続して使用することもできます。以下の設定をする場合、まずキーボード設定を行いたいポートを選択しておきます。

ホットキー	機 能
[Num Lock]+[–]→[F2]	Macキーボードエミュレーションを有効にします。 PC/AT互換キーボードで、Macの特殊キー操作ができます。
[Num Lock]+[–]→[F10]	Mac用キーボードを使用する場合は、こちらを選択します。

■ホットキーの設定を確認する

現在のホットキー設定を確認することができます。

- ① テキストエディタ、メモ帳を開きます。
- ② ホットキーセッティングモードを有効にします。
- ③ **[F4]** キーを入力します。
- ④ クリップボードに現在のホットキー設定情報がコピーされます。

ホットキー	機 能
[Num Lock]+[–]→[F4]	現在のホットキー設定情報をクリップボードにコピーします。

■USBをリセットする

USB機器がコントロールできなくなったときは、以下の操作でリセットできます。

ホットキー	機 能
[Num Lock]+[–]→[F5]	USB機器をリセットします。

ホットキーセッティングモード（続き）

■ポート切替え時のビーブ音を止める

ポート切替え時、デフォルトではビーブ音が鳴りますが、これを止めることができます。

ホットキー	機 能
[Num Lock]+[–]→[B]	ポート切替え時のビーブ音を鳴らす、または止める。 循環式に変更します。

このホットキーを再度押すと、ビーブ音を鳴らす設定に戻ります。

■ポート切替えホットキーを無効にする

ポート切替えに使用するデフォルトの操作キーは【Scr Lock】の2度押しですが、これを無効にすることができます。

ホットキー	機 能
[Num Lock]+[–]→[X]→[Enter]	ポート切替えに使用する[Scr Lock]の2度押しを無効にする。 循環式に変更します。

このホットキーを再度押すと、ポート切替えホットキーが有効になります。

■ホットキーの設定をデフォルトに戻す

ホットキーの設定をすべてデフォルト（工場出荷時の状態）に戻すことができます。

ホットキー	機 能
[Num Lock]+[–]→[R]→[Enter]	ホットキーの設定をすべてデフォルト（工場出荷時の状態）に戻す。

■ディスプレイエミュレーション機能を使用する

本製品は、接続されたディスプレイのメーカー名などさまざまな情報を読み込み記憶する、ディスプレイエミュレーション機能を搭載しています。この機能を使用するには以下のホットキーを押します。

ホットキー	機 能
[Num Lock]+[–]→[D]	ディスプレイエミュレーション機能を利用し、ディスプレイ情報を記憶する。

ホットキーセッティングモード（続き）

■手動ポート選択機能を変更する

ポート選択ボタンを押したときの動作を、代替設定に変更することができます。

ホットキー	機 能
[Num Lock]+[–]→[S]	フロントパネルのポート選択ボタンを押したときの動作を代替設定に変更します。 再度押すとデフォルトの設定に戻る、循環式のホットキーです。

【代替設定の動作】

- ポート選択ボタンを1回押すと、KVM・USBハブ・オーディオすべてを選択したポートに切替えます。
- ポート選択ボタンを2回押すと、オーディオのみを選択したポートに切替えます。
- ポート選択ボタンを2秒以上長押しすると、KVMのみを選択したポートに切替えます。
- ポート選択ボタン1と2を2秒以上長押しすると、オートスキャンを開始します。

※デフォルトの動作はP.6「各部の名称と働き」をご覧ください。

■マウスエミュレーション機能を使用する

本製品はデフォルトでマウスエミュレーション機能が有効になっています。
マウスエミュレーション機能が有効の場合、ポート切替え直後からマウスを操作できます。ただし、特殊なドライバを要するマウスは使用できません。
マウスエミュレーション機能が無効の場合、ポート切替え後、マウスを認識し使用可能になるまで数秒かかる場合がありますが、特殊なドライバを要するマウスなども使用できます。
ご使用の環境に応じて選択してください。

ホットキー	機 能
[Num Lock]+[–]→[M]	マウスエミュレーション機能の有効・無効を切替えます。 デフォルトでは有効になっています。

■キーボードとマウスをリセットする

USB2.0に対応していないOSが起動しているパソコンを接続すると、キーボードやマウスが反応しなくなる場合があります。このような場合は、キーボードとマウスをリセットしてください。

ホットキー	機 能
[Num Lock]+[–]→[F1]	キーボードとマウスをリセットします。

ホットキーセッティングモード (続き)

■ホットキーセッティングモード一覧

ホットキー	機 能
[Num Lock]+[+]→[H]	ホットキーセッティングモード起動キーストロークを循環式に変更する。 [Num Lock]+[+] ▶ [Ctrl]+[F12] ▶ [Num Lock]+[+] ……
[Num Lock]+[+]→[T]	ポート切替えに使用するキーを循環式に変更する。 [Scr Lock] [Scr Lock] ▶ [Ctrl] [Ctrl] ▶ [Scr Lock] [Scr Lock] ……
[Num Lock]+[+]→[F2]	Macキーボードエミュレーションを有効にします。 PC/AT互換キーボードで、Macの特殊キー操作ができます。
[Num Lock]+[+]→[F10]	Mac用キーボードを使用する場合は、このホットキーを押してください。
[Num Lock]+[+]→[F4]	現在のホットキー設定情報をクリップボードにコピーします。
[Num Lock]+[+]→[F5]	USB機器をリセットします。
[Num Lock]+[+]→[B]	ポート切替え時のピープ音を鳴らす、または止める。 循環式に変更します。
[Num Lock]+[+]→[X]→[Enter]	ポート切替えに使用する[Scr Lock]の2度押しを無効にする。または有効にする。 循環式に変更します。
[Num Lock]+[+]→[R]→[Enter]	ホットキーの設定をすべてデフォルト(工場出荷時の状態)に戻す。
[Num Lock]+[+]→[D]	ディスプレイエミュレーション機能を利用し、ディスプレイ情報を記憶する。
[Num Lock]+[+]→[S]	フロントパネルのポート選択ボタンを押したときの動作を代替設定に変更します。 再度押すとデフォルトの設定に戻る、循環式のホットキーです。
[Num Lock]+[+]→[M]	マウスエミュレーション機能の有効・無効を切替えます。 デフォルトでは有効になっています。
[Num Lock]+[+]→[F1]	キーボードとマウスをリセットします。

Macキーボードエミュレーション

コンソールがPC互換キーボード (101/104キー) でも、エミュレーション機能によりMacキーボードの特殊キーを入力できます。対応は下記の表を参照してください。

PC互換キーボード	Macキーボード
[Shift]	shift
[Ctrl]	control
	
[Ctrl] [1] ※	
[Ctrl] [2] ※	
[Ctrl] [3] ※	
[Ctrl] [4] ※	
[Alt]	alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	
[Enter]	return
[Backspace]	delete
[Ctrl] 	F15

※ [Ctrl] キーを押してすぐに離し、その後フルキー側の数字キー [1] ~ [4] を押して離してください。

仕様

品 番	SW-KVM2HDCN	SW-KVM4HDCN
対 応 パ ソ コ ン	DOS/Vデスクトップパソコンまたはノートパソコン、Apple Macシリーズ (USB Aコネクタ、DVI(24/29pin)ディスプレイコネクタを持つ機種)	
対 応 キー ボード	PS/2キーボード、USBキーボード ※2・3・4	
対 応 マ ウ ス	PS/2マウス、USBマウス ※1・4	
対 応 ディスプレイ	DVI(24pin・29pin)メスコネクタを持つディスプレイ ※本製品はデジタル信号、アナログ信号の両方に対応しています。付属の接続ケーブルはデジタル信号専用(デュアルリンク対応)ケーブルです。アナログ信号をご使用の場合は別途ケーブルをご用意ください。 ※シングルリンク・デュアルリンク両対応	
対 応 解 像 度	最大解像度2560×1600(@60Hz)(WQXGA)まで	
対応スピーカー・マイク	3.5mmステレオミニプラグ対応スピーカー・マイク	
対 応 O S	Windows 8.1・8・7・Vista・XP(32/64bit、各Edition対応) Windows Server 2012(R2)・Windows Server 2008(R2)・Windows Server 2003(R2) Mac OS X、Mac OS 9.0以降 Linux(CentOS、Ubuntu、OpenSUSE)	
インターフェイス	<パソコン用> ディスプレイ:DVI(29pin)メス×2 ※デュアルリンク対応 キーボード:マウス・USB2.0/ハブ:USB Bコネクタメス×2 フロントスピーカー:3.5mmステレオミニジャック×2 サイドスピーカー:3.5mmステレオミニジャック×2 リアスピーカー:3.5mmステレオミニジャック×2 センター/サブウーハー:3.5mmステレオミニジャック×2 マイク:3.5mmステレオミニジャック×2 ライン:3.5mmステレオミニジャック×2 <コンソール用> ディスプレイ:DVI(29pin)メス×1 ※デュアルリンク対応 キーボード:USB Aコネクタメス×1 マウス:USB Aコネクタメス×1 フロントスピーカー:3.5mmステレオミニジャック×2 サイドスピーカー:3.5mmステレオミニジャック×1 リアスピーカー:3.5mmステレオミニジャック×1 センター/サブウーハー:3.5mmステレオミニジャック×1 マイク:3.5mmステレオミニジャック×2 ライン:3.5mmステレオミニジャック×1 USB2.0/ハブ:USB Aコネクタメス×2	<パソコン用> ディスプレイ:DVI(29pin)メス×4 キーボード:マウス・USB2.0/ハブ:USB Bコネクタメス×4 スピーカー:3.5mmステレオミニジャック×4 マイク:3.5mmステレオミニジャック×4 <コンソール用> ディスプレイ:DVI(29pin)メス×1 キーボード:USB Aコネクタメス×1 マウス:USB Aコネクタメス×1 スピーカー:3.5mmステレオミニジャック×2 マイク:3.5mmステレオミニジャック×2 USB2.0/ハブ:USB Aコネクタメス×2
切 替 方 式	本体ボタン切替、ホットキー切替、オートスキャン切替	
切 替 音	ビーブ音 ON-OFF設定可能	
電 源	ACアダプタ(DC5.3V 2.4A)	
消 費 電 流	最大1.57A	最大1.92A
動作時温度・湿度	0～50℃ 湿度80%以下(結露なきこと)	
保管時温度・湿度	-20℃～60℃ 湿度80%以下(結露なきこと)	
サ イ ズ	W260×D70×H42mm(本体サイズ)	
付 属 品	パソコン接続用ケーブル(1.8m)×2、 7.1chシステム用オーディオケーブル(1.8m)×2、 ACアダプタ(DC5.3V 2.4A)×1、 USB-PS/2変換ケーブル×1、 取扱説明書(保証書付き)	パソコン接続用ケーブル(1.8m)×4、 ACアダプタ(DC5.3V 2.4A)×1、 USB-PS/2変換ケーブル×1、 取扱説明書(保証書付き)

- ※1 マウス切替機能を使用するにはマウスエミュレーション機能をON(有効)にしておく必要があります。
 ※2 キーボードに搭載されているUSBハブポートは本製品経由では使用することはできません。
 キーボードに搭載されている特殊ボタンなどドライバを要する機能についても本製品経由では使用することができません。
 ※3 指紋認証機能付キーボード、トラックパッド付キーボードなどは動作しないことがあります。
 ※4 Bluetoothキーボード・Bluetoothマウスには非対応です。

トラブルシューティング

SW-KVM2HDCN・4HDCN トラブルシューティング

- Q)** MacとWindowsの混在環境でコンソールにMac用キーボードを使用したい。
A) 取扱説明書P.13の「使用キーボードを変更する」を参照してください。
- Q)** 特殊なドライバを要するマウスをコンソールで使用すると一部の機能が動作しない。
A) 本製品はデフォルトでマウスエミュレーションが有効になっており、特殊なドライバなどをエミュレートすることができません。取扱説明書P.15をご参照の上、マウスエミュレーション機能を無効にしてください。
- Q)** ワイヤレスキーボードマウスセットを使用したい。
A) USBレシーバーを切替器バックパネルの「キーボード接続ポート」に接続して使用ください。
- Q)** ポート切替時にディスプレイ解像度が変わってしまう。
A) ディスプレイエミュレーション機能を使用しディスプレイ情報をKVMに記憶させてください。
 詳しくは取扱説明書P.14の「ディスプレイエミュレーション機能を使用する」を参照してください。
- Q)** USBデバイスが認識しない。
A) スキャナーや複合機プリンタなど一部の機種では機器の認識がしにくい場合があります。
 USBケーブル長を短くしてお試しください。
- Q)** ディスプレイはパソコンに直接接続した状態でキーボード・マウスのみを切替えたい。
A) 可能です。ディスプレイは直接パソコンに接続した状態でキーボード・マウスのみ切替器としてもご利用可能です。

免 責

- 本製品の使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はいたしかねます。
- 本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。故障の原因となります。
- 本製品を水分や湿気が多い場所、直射日光のあたる場所、ホコリや油煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり保管したりしないでください。

保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
- | | |
|--------------------------------------|--|
| ①保証書をご提示いただけない場合。 | ④故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。 |
| ②所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。 | ⑤天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。 |
| ③故障の原因が取扱い上の不注意による場合。 | ⑥譲渡や中古販売・オークション・転売などでご購入された場合。 |
- 3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5)本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 6)本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9)保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書

サンワサプライ株式会社

型番		SW-KVM2HDCN • SW-KVM4HDCN	
シリアルナンバー			
お客様	お名前		
	ご住所	〒 TEL	
販売店	販売店名・住所・TEL		
	担当者名		
保証期間	1年	お買い上げ年月日	年 月 日

最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
 - ドライバのダウンロード
 - よくある質問(Q&A)
 - 各種対応表
- など、最新情報を
随時更新しています。

▼トップページから



各情報ページを直接
ご覧いただくこともできます。

▼サポートページへ



ご質問、ご不明な点などが
ありましたら、ぜひ一度
弊社WEBサイトをご覧ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト (<http://www.sanwa.co.jp/>) をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

岡山サプライズセンター 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライズセンター 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所 〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 パストラルビルN8 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所 〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37宝来ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所 〒463-0015 名古屋市中村区椿町16-7カジヤマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所 〒538-0003 大阪府淀川区富原4-1-45新大塚ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前2-20第2博多相互ビル TEL.092-471-5721 FAX.092-471-8078

BF/AG/TTD&A